

平成28年8月30日(火)
先進・優良事例の展開促進に
関する地方懇談会 発表用資料

播磨圏域連携中枢都市圏の取組

姫路市

播磨圏域連携中枢都市圏の現状

播磨圏域を形成する各市町

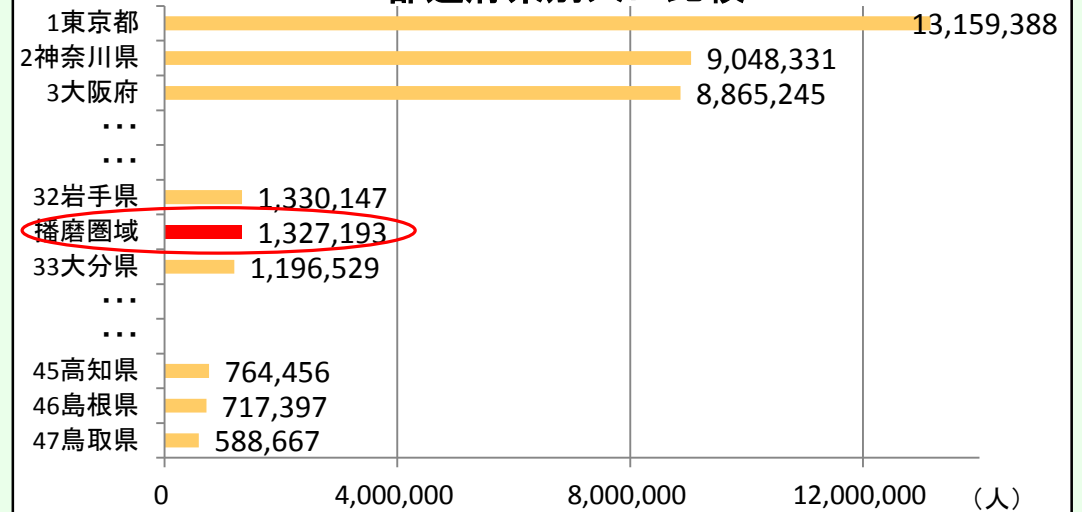
播磨圏域の8市8町



播磨圏域は、姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町の8市8町で構成される。

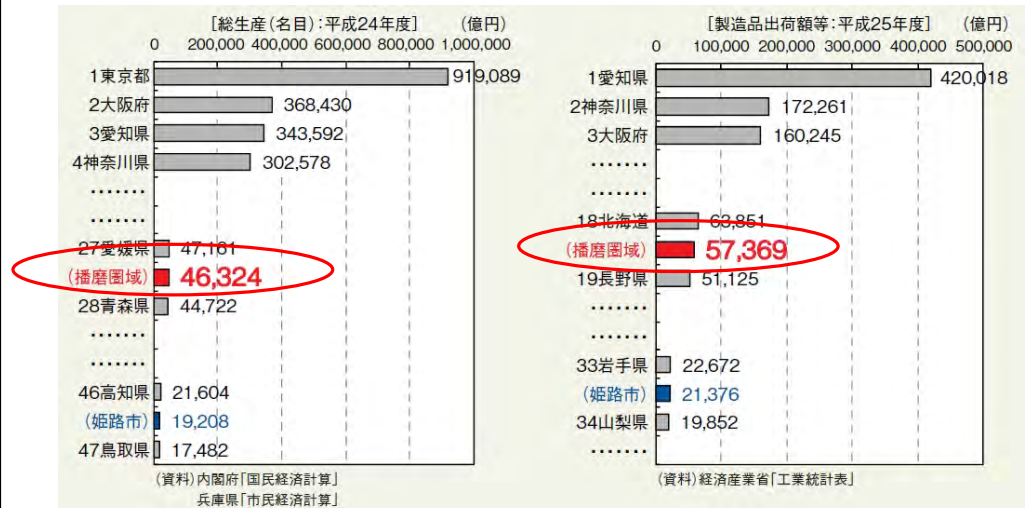
播磨圏域における人口・総生産額・製造品出荷額等は都道府県別の順位にすると、それぞれ**33位**、**28位**、**19位**に相当する。

都道府県別人口比較



(出典) 総務省「平成22年国勢調査」

都道府県別経済規模比較

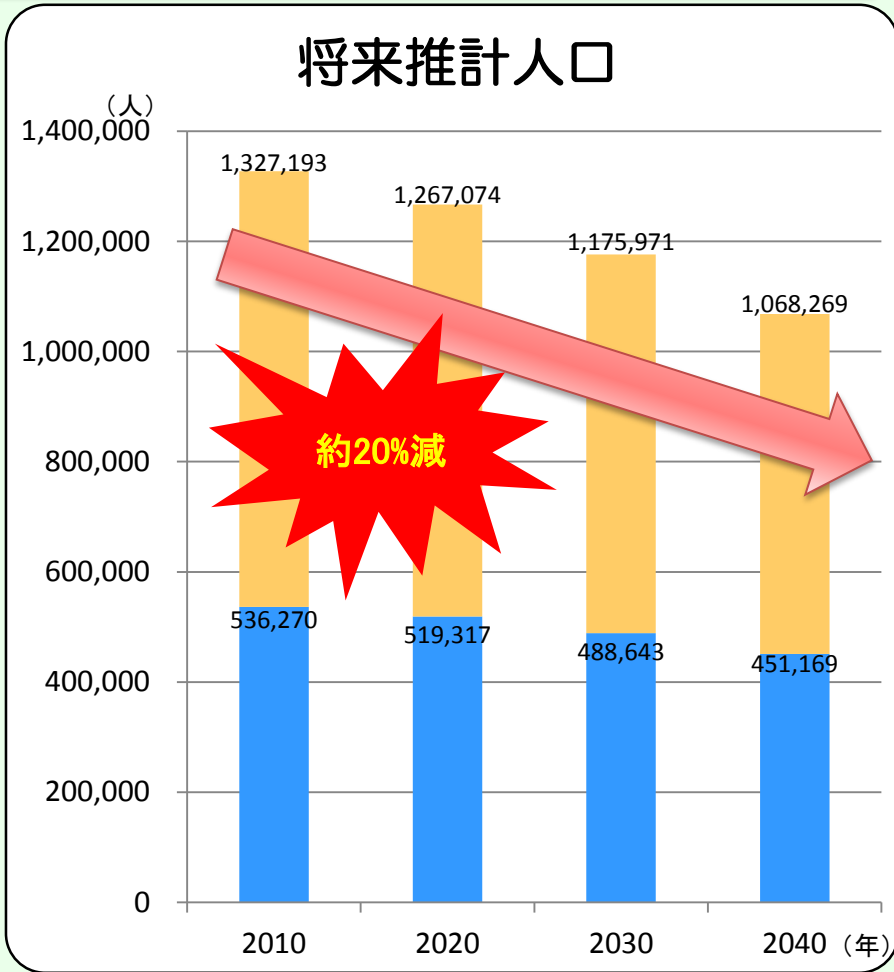


(資料) 内閣府「国民経済計算」
兵庫県「市民経済計算」

(資料) 経済産業省「工業統計表」

播磨圏域連携中枢都市圏の現状

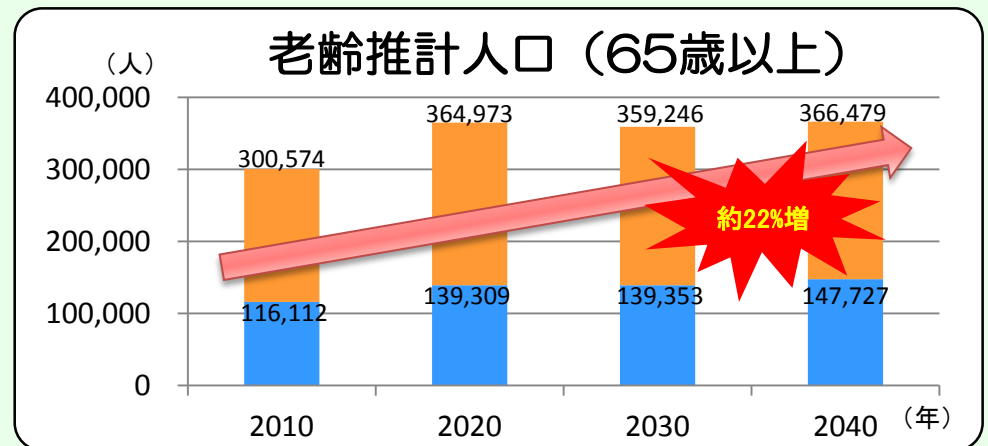
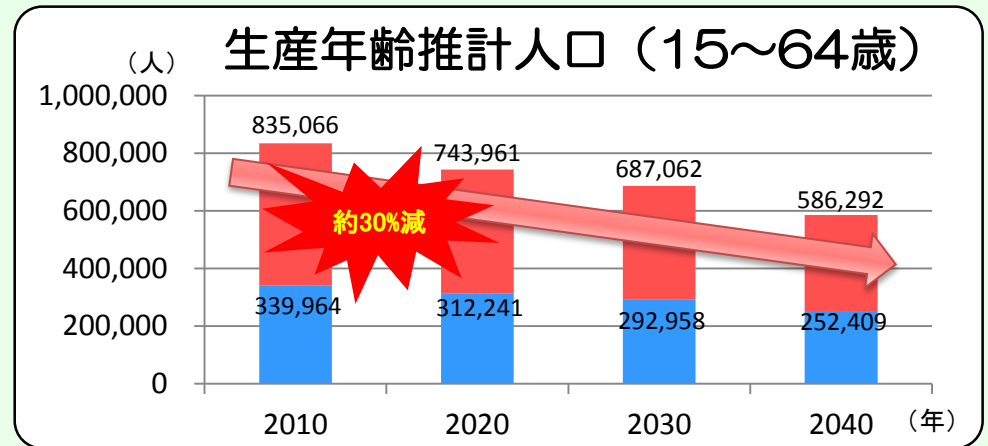
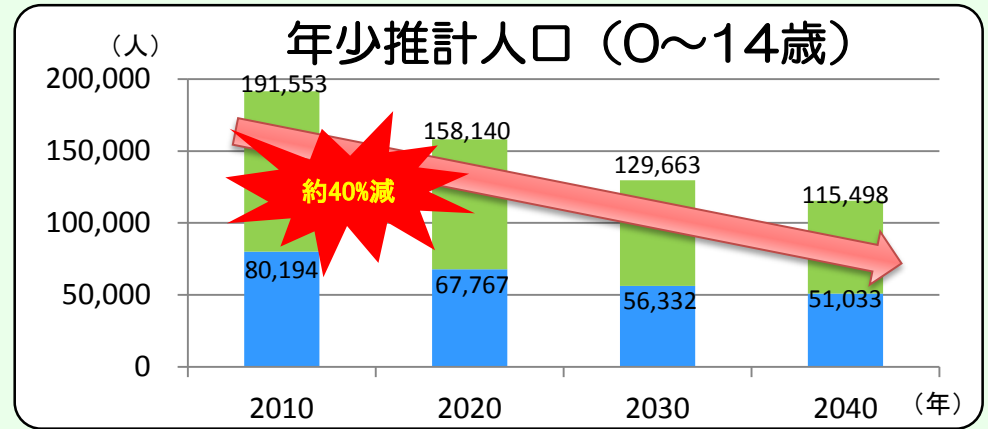
姫路市及び播磨圏域の将来推計人口



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月公表)
 ※棒グラフ中、青色の箇所は姫路市の将来推計人口

播磨圏域(8市8町)における将来推計人口は今後30年間で約26万人減少すると予想されている。

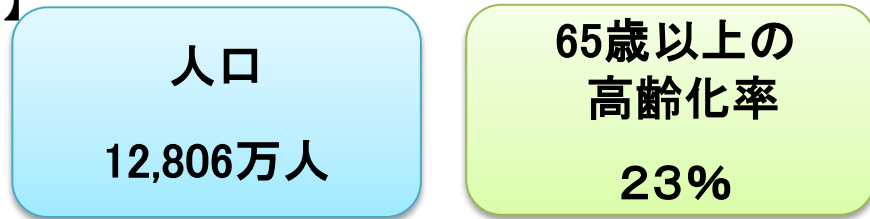
年少人口、生産年齢人口が減少する一方、高齢人口は増加し、少子高齢化に一層の拍車がかかると予想され、姫路市においても同様の傾向である。



人口減少・少子高齢社会の到来

50年で人口が3割減・高齢化率が倍増

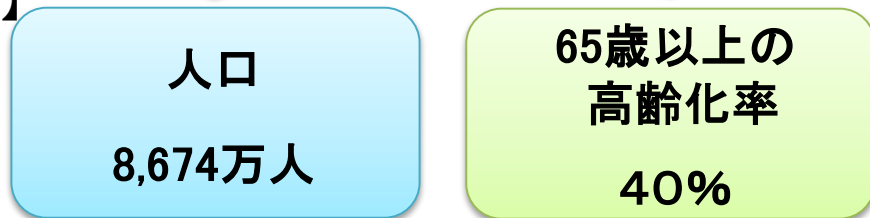
【2010年】



3割減

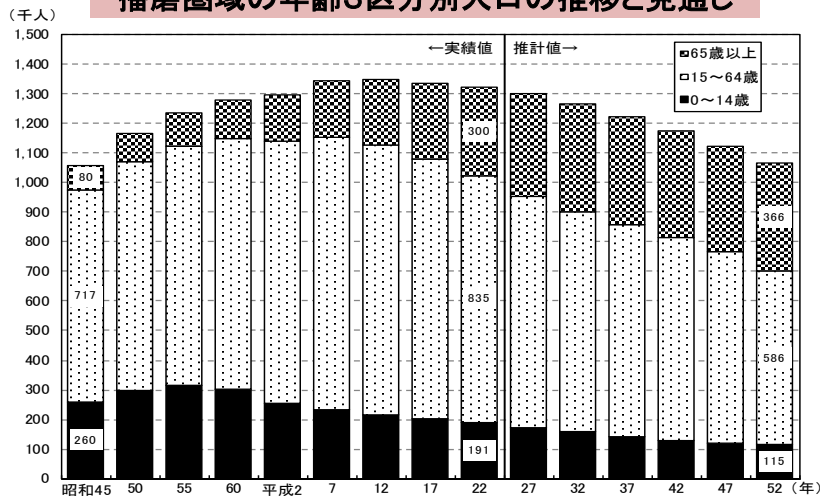
倍増

【2060年】



国立社会保障・人口問題研究所発表(平成24年1月)

播磨圏域の年齢3区分別人口の推移と見通し



(資料)総務省「国勢調査」、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」

播磨圏域の人口変化試算

市町名	2010年	2040年	若年女性 変化率(%)
姫路市	536,270	440,491	-33.6
★相生市	31,158	19,766	-55.4
加古川市	266,937	216,001	-38.3
赤穂市	50,523	36,562	-44.4
高砂市	93,901	72,448	-43.2
★加西市	47,993	33,598	-54.7
★宍粟市	40,938	24,947	-55.0
たつの市	80,518	61,844	-39.9
★稲美町	31,026	20,759	-53.7
播磨町	33,183	24,726	-44.9
★市川町	13,288	7,809	-54.7
★福崎町	19,830	15,604	-51.3
★神河町	12,289	7,055	-61.7
太子町	33,438	30,969	-20.0
★上郡町	16,636	9,723	-65.1
★佐用町	19,265	10,043	-68.2

※★は「消滅可能性」が高いとされた自治体。若年女性は20～39歳
変化率は2010年と40年時人口を比較
※日本創成会議・人口減少問題検討分科会発表(平成26年5月)

地方創生と連携中枢都市圏の関係

地方創生

国における位置づけ

長期ビジョン

I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

◆人口減少の歯止め

- ・国民の希望が実現した場合の出生率
(国民希望出生率)=1.8

◆「東京一極集中」の是正

II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率1.5~2%
程度維持

(人口安定化、生産性向上が実現した場合)

まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標① 地方における安定した雇用を創出する

基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を
かなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを
守るとともに、地域と地域を連携する

(政策パッケージ)

地方都市による経済・生活圏の形成(地域連携)

・都市のコンパクト化と周辺等のネットワーク形成

・**「連携中枢都市圏」の形成**・定住自立圏の形成促進



姫路市が全国に先駆けて取組を開始

人口ビジョン

兵庫県の人口の現状
と将来の展望を提示
するもの

総合戦略

兵庫県の人口ビジョ
ンを踏まえ、今後5
か年の兵庫県の目
標や施策の基本的
方向、具体的な施策
をまとめるもの

平成27年9月策定

兵庫県

ひめじ創生戦略[人口ビジョン]

国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示

ひめじ創生戦略[総合戦略]

人口ビジョンを踏まえ、本市の今後5か年(H28~32年)

の目標や施策の方向性、具体的な事業を提示

【5つの基本目標】

- 1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生
- 2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生
- 3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生
- 4 出産、子育てにやさしい社会を創生
- 5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生

※ 平成28年3月策定

姫路市

連携中枢都市制度

経済成長のけん引等の機能を有する圏域の中心都市と経済
的・文化的に結びつきの強い近隣市町村による広域連携制度

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン

- 1 圏域全体の経済成長のけん引
- 2 高次都市機能の集積・強化
- 3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

播磨圏域連携中枢都市圏の将来像

播磨圏域連携中枢都市圏の目的

「連携中枢都市制度」とは、人口減少社会の危機に直面する中で、姫路市のリーダーシップで播磨圏域の市・町が対等協力の立場で団結し、

- ① 播磨圏域の経済の活性化！
- ② 圏域の魅力の向上！
- ③ 住民に安心快適な圏域づくり！

に取り組み、播磨圏域の「地方創生」を進める制度です。

上記の①～③を通じて、雇用を創り、圏域の魅力を高め、大都市圏への人口流出をストップ！

播磨圏域連携中枢都市圏の将来像

人口減少社会でも **光り輝く播磨圏域** を目指して、播磨が団結し、「連携中枢都市制度」を推進！

圏域全体の経済を活性化し、圏域の魅力を高めるとともに、住民が安心して暮らすことのできる圏域づくりを進め、地方から大都市圏への人の流れを変え、日本の「人口減少の防波堤」としての役割を目指します！

播磨圏域連携中枢都市圏の取組概要

圏域全体の経済成長のけん引

「はりま・ものづくり力」の強化

播磨圏域には、優れた中小企業が集積し、世界最高水準の大型放射光施設「SPring-8」やX線自由電子レーザー施設「SACLA」等の世界に誇る**最先端科学技術施設**がある。

今後、兵庫県立大学産学連携・研究推進機構等との連携を強化し、これら最先端科学技術施設を活かして、多種多様な企業の独自技術と先端技術の融合を図ることなどにより、広く、圏域内企業の**革新的技術、新素材及び新製品の開発**などにつなげる。



【SACLA】



【SPring-8】

企業誘致の推進

ものづくりの一大拠点である播磨圏域全体で、兵庫県と協力しながら企業立地に関する播磨圏域の優位性をアピールするなど、圏域全体で企業誘致に取り組むことにより、**圏域全体の産業振興や雇用の創出**を図る。



【臨海部に集積する企業群】



【播磨科学公園都市】

連携市町におけるものづくり産業の集積状況等を調査・分析し、各市町が持つ企業立地環境の強みを的確に把握するとともに、広域企業立地ガイド等の新たなPRツールを作成し発信する。

播磨圏域連携中枢都市圏の取組概要

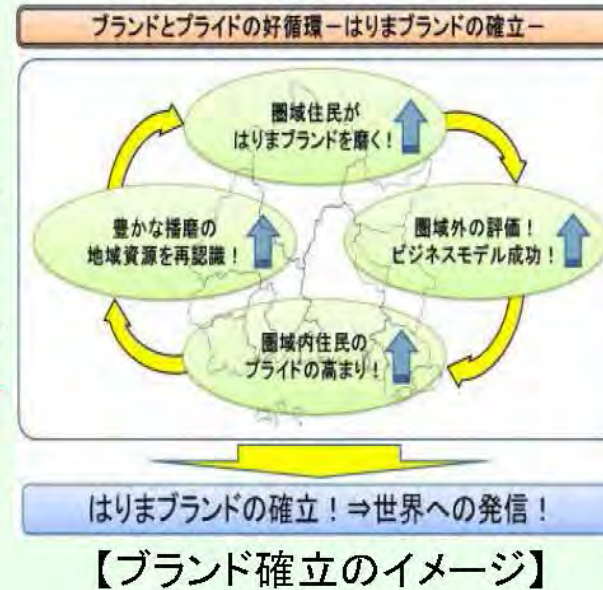
「はりま地域ブランド」の育成

播磨は古来より「豊穡の地」と呼ばれ、温暖な気候と豊かな自然がもたらす山海の食材に恵まれており、世界でも高評価を得ている日本酒や革製品をはじめ、多彩な播磨の地場産品のブランド化・高付加価値化を進め、地域ブランドを育成することにより、**ブランド(地域資源)とプライド(地域の誇り)の好循環**を構築し、播磨地域の価値を高める取組を支援する。

交流人口の増加

リニューアルした世界遺産・姫路城をはじめ、圏域内の国宝などの歴史的建造物、豊かな自然・文化や最先端研究施設などの地域資源を活用し、多様なニーズに応じたニューツーリズムを推進するとともに、姫路城のブランド力を活かして本市のみならず播磨圏域全体に誘客する体制を整備する。

外国人観光客をターゲットとした**インバウンド観光の推進**や**広域対応型「MICE」の展開**により、**交流人口の増加を図る**。



【姫路城】

播磨圏域へ誘客!

圏域内の多彩な観光資源



播磨圏域連携中枢都市圏の取組概要

高次の都市機能の集積・強化

JR姫路駅前の整備とネットワークづくり

播磨圏域の中心都市にふさわしい都心づくりに向けて、JR姫路駅周辺で、**魅力ある商業施設や付加価値の高いサービス産業、国際的・広域的な情報交流を促進するコンベンション機能を備えた施設などの導入**を進める。



【姫路駅北駅前周辺】

広域的な救急医療体制の充実

兵庫県と協力しながら二次及び三次救急医療体制の整備や先進医療の充実など、安定的な診療体制の確立を図るとともに、医療従事者の確保などに取り組む。

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

広域防災

大規模災害発生時等の相互応援や地域防災力の向上のため、減災・防災体制の充実を図る。

社会教育施設の相互利用

住民の社会教育活動を支援するため、圏域内の**図書館や博物館等の相互利用**を進める。

地域公共交通

JR姫路駅を起点として圏域の内外を繋ぐJR姫新線・播但線の利用促進などを行い、地域公共交通ネットワークの維持形成に取り組む。

移住・定住促進

移住・定住希望者の様々なニーズ等に対応するため、地域の特長を生かした移住・定住対策に取り組む。